

第 28 回総括検討会議事録

1. 開催日時 : 2025 年 11 月 12 日 (水) 10 時 00 分～11 時 03 分
2. 開催場所 : 一般社団法人 日本電気協会 4 階 C 会議室 (Web 併用会議)
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
出席委員 : 藤田主査(東京電機大学), 中村副主査(東京都市大学), 野元幹事(日本原燃), 中野(日立 GE ヘルパルハニュークリアエナジー), 白井(日本原燃), 岡田(電力中央研究所), 橋本(東京電力 HD), 杉岡(東京電力 HD), 岩瀬(中部電力), 伊藤(関西電力), 岩田(電源開発), 綿引(東京電力 HD), 古江(鹿島建設), 大橋(清水建設), 宇賀田(大成建設), 樋口(東芝エネルギーシステムズ), 伊神(MHI NS エンジニアリング) (計 17 名)
代理出席者 : 川島(大林組, 諸菱委員代理), 橋本(竹中工務店, 藪下委員代理) (計 2 名)
欠席委員 : なし (計 0 名)
オブザーバ : なし (計 0 名)
説明者 : なし (計 0 名)
事務局 : 美濃 (計 1 名)

4. 配付資料

- 資料 No.28-1 第 27 回総括検討会議事録 (案)
- 資料 No.28-2 原子力規格委員会 耐震設計分科会 総括検討会委員名簿
- 資料 No.28-3-1 2026 年度各分野の規格策定活動 (案)
- 資料 No.28-3-2 2025 年度活動計画 (案)
- 資料 No.28-4 JEAC4601 NRA 技術評価実施状況

5. 議事

事務局から、本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認及び Web 会議での注意事項説明の後、藤田主査より開催の挨拶があり、その後議事が進められた。

(1) 資料確認, 代理出席者の承認 他

事務局から配付資料の確認の後、代理出席者 2 名の紹介があり、分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項に基づき、主査の承認を得た。本日の出席者は、現時点で代理出席者も含め 19 名で、分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づく決議条件の「委員総数の 2/3 以上の出席」を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録（案）の確認（審議）【議題 1】

事務局より、資料 No.28-1 に基づき、前回議事録（案）の紹介があり、正式議事録とすることについて、分科会規約第 13 条（分科会）第 15 項に基づいて、挙手及び Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(3) 新委員及び新委員候補の紹介

事務局より、資料 No.28-2 に基づき、下記総括検討会委員 2 名の変更があるとの紹介があった。新委員は 7 月の耐震設計分科会にて承認済みであること、新委員候補は、分科会規約第 13 条(検討会)第 4 項に基づいて、次回耐震設計分科会で承認予定であることの説明があり、その後新委員の挨拶があった。

- ・退任済み 松田 委員（関西電力）
- ・新委員 伊藤 委員（同左）
- ・退任予定 宇賀田 委員（大成建設）
- ・新委員候補 村松 氏（同左）

(4) 2026 年の各分野の規格策定活動および活動計画について（状況報告）

各検討会幹事より、資料 No.28-3-1 及び資料 No.28-3-2 に基づき、2026 年の各分野の規格策定活動および活動計画の策定状況の中間報告として、説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・資料 No.28-3-2（活動計画）JEAG4601-2021 の基準津波の記載と JEAG46xx は、今後連携して上程することから、2025 年度活動実績欄には、上程を実績として記載してはどうか。
→ その様な方向で修文する。
- ・資料 No.28-3-2（活動計画）JEAG4625-2015 について、2025 年度活動実績に降灰ハザードを取り組む際の位置づけについて再検討を行ったとの記載があるが、再検討を行った結果の方向性だけでも記載できないか。また、2026 年度計画に上程予定とあるが、上期/下期の目安の記入が必要になると考える。
→ 降灰ハザードについては、2 月の総括検討会で議論するころの検討状況にて記載を充実させる。2026 年度の上程時期については、中間報告を含め上程を目指す時期を記載する。
- ・資料 No.28-3-2（活動計画）JEAC4618-2009 の 2026 年度計画は従来通りとなっているが、新設の動きも活発化しており、SC 構造を採用しようという動きもみられる。電共研では SC 構造に対する実験結果なども出ていることから、多少前向き感のある記載にしてはどうか。
→ 2026 年度計画の活用を見込む国内外の研究成果等の箇所に、そのような内容を追記する。ただし、改定できるような知見が集まっていないため改定時期については記載が難しく、研究成果の箇所を修正する形とする。

- 次回の耐震設計分科会(12/1)で広い視点からの意見をもらって年度計画を充実できるよう、本日の議論を踏まえ、次回の耐震設計分科会へ中間報告を行うこととなった。

(5) その他

1) 技術評価の状況について

野元幹事より技術評価の状況について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 公開会合と面談の日程は、もう少し早くわかると日程調整が助かる。
- ・ 公開会合については、電気協会に対応ができない日時を NRA へ連絡してもよいと考える。
→面談は火曜日午後としている。公開会合日時は NRA が設定しており、電気協会の都合は伝えていたが、NRA 外部専門家の先生方との調整が難しいと聞いている。日程は、決まり次第関係者へ連絡する。

2) 退任委員挨拶

今回退任する宇賀田委員（大成建設）より退任の挨拶があった。

以 上